



# 社会運動の再生にむけて

韓国の市民・女性・労働運動から学ぶ vol.3

安定した雇用が  
激減するなか  
雇用を前提とする  
社会保障制度は  
機能しない  
全ての人々に  
無条件に給付する  
ベーシックインカムが  
必要だ

ベーシックインカムは  
子どものいない世帯への  
児童手当の給付と  
同じくらいの政策ミスだ  
必要なのは  
人々のニーズに  
合わせた  
社会保障制度の  
機能強化だ

## ベーシックインカムの導入か 社会保障の機能強化か

2021年 **4月16日** [金] 18:00~21:00

～ 苦悩する韓国に学ぶ

ガイダンス 金成垣 (東京大学)

ゲストスピーチ

「ベーシックインカム論争の主な争点とモデル:韓国の事例」ペク・スンホ 白承浩 (カトリック大学校 社会福祉学科 教授)

「ベーシックインカムは福祉国家の発展をもたらすのか?」ヤン・ジェジン 梁在振 (延世大学校 行政学科 教授)

日本側からのコメント 森崎めぐみ (日本芸能従事者協会代表) 宮本太郎 (中央大学教授)

質疑応答

映画「パラサイト 半地下の家族」が描いているように、今日、韓国社会が抱えている不平等や格差問題は非常に深刻です。その深刻な格差問題の解決に役に立っていない社会保障制度への失望感が人々の間で広がっています。そのようななか、社会保障制度には改善の余地がないと、それにとって代わる新しい政策としてベーシックインカムの導入を主張する側と、ベーシックインカムの非現実性や政策効果の限界を浮き彫りにし、社会保障制度の機能強化を主張する側とが、激しく対立しています。深刻な格差問題をなんとかして解決したい韓国はどのような選択をするのでしょうか、そしてその韓国から何を学ぶべきなのでしょう。



ペク・スンホ (白承浩)

カトリック大学 社会福祉学科 教授  
ベーシックインカム韓国ネットワークの理事および  
『季刊基本所得』編集委員長  
ベーシックインカムのアイデアを学術的に研究し、  
政策化のための実践ロードマップを提示することに  
主導的な役割を果たしている。



ヤン・ジェジン (梁在振)

延世大学 行政学科 教授  
延世大学福祉国家研究センター所長および  
社会保障委員会評価専門委員会委員長  
ベーシックインカム導入を反対する立場から、  
社会保障の機能強化による福祉国家再建の  
ための改革論を積極的に展開している。

【オンライン開催】 Zoomウェビナーによるオンライン開催となります。(同時通訳あり)

【申込先】 一般社団法人 生活経済政策研究所 <http://www.seikatsuken.or.jp/> HPの登録リンクからお申し込みください。

【参加費】 無料

※ご不明な点があれば、03-3253-3772 e-mail: [daimon@seikatsuken.or.jp](mailto:daimon@seikatsuken.or.jp) までお問い合わせください。



登録リンク

HP